

4 年「三つのつつみ」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう そして、次のことについて書きましょう ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感） ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識） ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働） ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	まだ見ぬ人のために心を遣う
導入	今日の登場人物は、デルスウといって、猟師です。猟師は、山の中を歩いて、獣などを取っている人です
展開前段 つなぎ発問①	○不意に、この小屋に来るのは、どんな人でしょう ○その人たちは、三つの包みを見たら、どんなことを思うでしょう ○デルスウは、どうして、三つの包みを置くことを思いついたのでしょうか ○私たちの周りで、デルスウのような思いやりのある行動をみたことがありますか
展開後段	どんな思いや気持ちが大きくなると、思いやりのある行動ができるのでしょうか
つなぎ発問②	皆さんには、誰かを思いやる気持ちがあります。その気持ちをもっともっと大きくしていきましょう。先生は、それを見ることを楽しみにしています
振り返り	